

—やっぱり危険、今でも違反、負担軽減はまやかした—

沖縄の空にオスプレイはいらない2・22集会



市街地上空をヘリコプターモードで飛ぶオスプレイ。
これは運用に関する日米合意違反だ。

<集会プログラム>

沖縄から:

● 配備1年のオスプレイの違反飛行の常態化について—

松元剛さん（「琉球新報」政治部長）

● 映像上映—沖縄の上空を飛び回るオスプレイ

● 全国の低空飛行訓練に反対する取り組みの報告—平和フォーラム

● 各地の取り組みの報告（岩国、横田、厚木など）、他

2月22日(土)

開場 13:15 開始 13:30

文京区民センター (3A)

地下鉄・後樂園駅又は春日駅（文京区本郷 4-15-14）

参加費: 500円

主催: オスプレイの沖縄配備に反対する首都圏ネットワーク

連絡先: 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック TEL:090-3910-4140

沖縄意見広告運動 TEL:03-6382-6537

ピースポート TEL:03-3363-7561

この集会への賛同を募っています（個人・団体一口1,000円）
郵便振替: 00150-8-120796 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック
* 通信欄に必ず「2.22集会賛同」と公表の可否を記入して下さい

【2014年1月7日発行】

—やっぱり危険、今でも違反、負担軽減はまやかした— 沖縄の空にオスプレイはいらない2・22集会<呼びかけ&趣旨文>

2013年1月、沖縄県内の41市町村の首長・議会議長らが上京し、オスプレイの撤去、普天間基地の県外移設などを訴えた「建白書」を首相に提出してから1年が経過しようとしています。しかし、政府はそのオール沖縄の民意を無視し、8月、オスプレイを追加配備してしまいました。

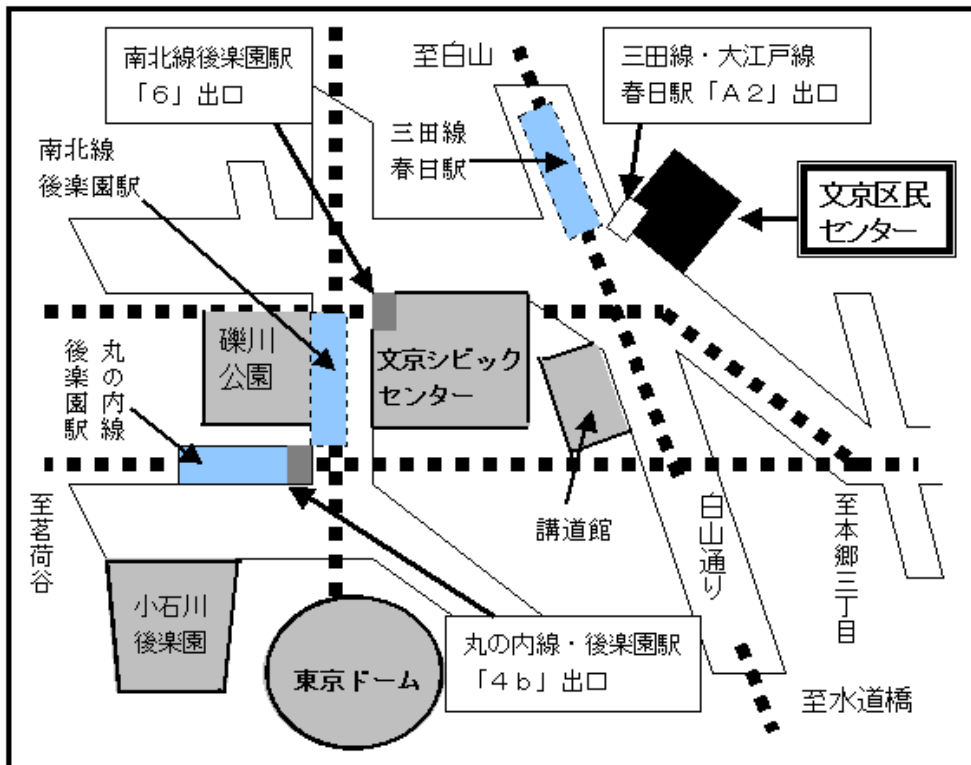
オスプレイは昨年8月、9月にも、ネバダ州、アリゾナ州などで着陸事故を起こしています。機体が激しく損傷しているにもかかわらず、日米両政府は、事故の程度を過小に伝えています。飛行についての合意も、依然守られていません。

住民の安全を全く顧みることをしない政府は、オスプレイの訓練をさらに広げようとしています。昨年10月には、滋賀県饗庭野で防災演習に参加させ、11月には宮崎県の新田原基地の航空祭にオスプレイを展示、そして明けて2月から3月にかけて、群馬・新潟においても訓練を実施するとしています。このようにして、各地でオスプレイを展開させ、全国での低空飛行訓練をなし崩し的に行おうとしているのです。

このような訓練が強化されることは、沖縄の基地建設が進むことと一体です。辺野古の新基地建設への策動、高江のヘリパッド工事強行が、それを雄弁に物語っています。政府の言っている「負担軽減」はまやかに過ぎません。

オスプレイの配備は、基地行政、安全保障政策の大きなターニングポイントになります。訓練強行、引き続き配備を許さない闘いを全国に広めていきましょう。2.22集会に多くの参加を呼びかけます。

文京区民センター案内図



文京区民センター所在地 〒113-0083 東京都文京区本郷4-15-14

交通アクセス（最寄り駅）

- 東京メトロ 丸の内線 後楽園駅>>>4bまたは5番出口【徒歩6分】
- 東京メトロ 南北線 後楽園駅>>>>5番出口【徒歩6分】
- 都営地下鉄 三田線/大江戸線 春日駅>>A2出口【徒歩2分】
- JR総武線 水道橋駅>>>東口【徒歩10分】